

さまざまに姿を変えるモノから
生活の知恵や日本とのつながりを発見

MoNo 変身図鑑

第9回

お茶

“日常茶飯事”という言葉が示すように、日本人にとって生活の一部となっているお茶。最近では消臭、抗菌、リラクゼーションと、お茶の持つパワーが注目されている。

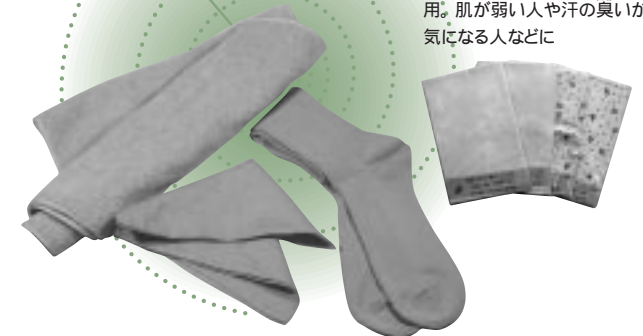
紙製品

お茶の持つ香りと色を生かしながら、茶葉から作られた紙製品。はがき、名刺などのほか、カテキンの消臭・抗菌効果を利用した消臭シートなども作られている



繊維

カテキンの抗菌・消臭・抗アレルギー効果をTシャツやソックス、ハンカチなどの繊維に利用。肌が弱い人や汗の臭いが気になる人などに



茶の木と茶葉

何百種類とあるお茶だが、原料となる茶の木はたった1種類。緑茶を代表とする不発酵茶、ウーロン茶などの半発酵茶、紅茶などの強発酵茶と、製造方法の違いによって大きく3つに分けられる



1種類の木から万化するお茶

日本茶、中国茶、紅茶と姿かたちを変えながら世界中で愛飲されているお茶。そのルーツは中国雲南省南部、南下してきた漢民族との接触の中で製茶・飲茶の文化が生まれたといわれる。日本へ伝播したのは奈良時代、中国へ留学した僧たちが持ち帰ったという説が有力だ。16世紀になるとヨーロッパに紹介され、17世紀には各国へ伝えられた。特に王侯貴族が砂糖を入れて飲んだイギリスでは、高貴なモノへの憧れもあって愛飲する人が急増した。アメリカがイギリスから独立するきっかけの一つになった1773年のボストン・ティーパーティー事件、さらに中国とのアヘン戦争も紅茶が引き起こしたといわれるほどだ。

現在、世界の茶生産量の7割が紅茶だ。最大の生産国はインドで、一人当た

ネパールの茶店には日本語の文字も



硬質、抗菌、抗虫歯、抗アレルギー、血圧上昇抑制、消臭などの機能をもつカテキンで、その利用方法が多方面から研究されている。

飲んで食べてお茶で元気に

お茶は飲むだけでなく食べる文化もある。中国南部やタイ北部、ミャンマーなど一部の地域では茶葉を発酵させ食べる習慣がある。日本でもお茶どころの静岡地方などでは、番茶でご飯を炊く茶めしや茶がゆが食べられている。

不老長寿の薬、養生の仙薬といわれ、体によい飲み物とされてきたお茶だが、最近はその科学的薬効に改めて注目が集まっている。茶葉には興奮・覚醒作用のあるカフェインをはじめ、うまみの元でリラックス効果を与えるテアニンやピタミン、サポニン、アミノ酸など、さまざまな物質が含まれている。中でもこれからの活躍が期待されているのが抗酸化、抗ガン、抗動脈硬化、抗ガン、抗動脈硬化、抗アレルギー、血圧上昇抑制、消臭などの機能をもつカテキンで、その利用方法が多方面から研究されている。



原産地付近にある茶の木

カビやダニが発生しやすいエアコンや押し入れ対策として、エアコンのフィルターやタンスシートにもカテキンの抗菌・脱臭効果を発揮。足の臭いを消すインソールにも利用

抗菌グッズ



コスメ&入浴グッズ



お茶の香り、保湿効果を化粧水やシャンプー、石鹸、入浴剤などに利用。緑茶の出がらしをお風呂に入れるだけでも肌荒れに効くという。また消臭効果を利用した歯磨き粉や口臭予防のタブレットも出ている

お茶の産地は特に胃ガン死亡率が低いという報告もあるんだよ



スナック&加工食品

缶入り・ペットボトル入り飲料、茶を練りこんだ茶そばをはじめ、虫歯・口臭予防などの有効成分を生かした健康食品やスナックが次々と発売されている。



お茶からライフスタイルが見えてくる

アフタヌーンティーが有名なイギリスの紅茶、バターや岩塩を入れて飲むチベット族のスーチャ、緑茶に砂糖とミントの葉を入れて煮出すモロッコのミントティー、砂糖とミルクを加えたインドのチャイ...。世界中で飲まれているお茶だが、国によ



ネパールの街角の喫茶風景

っては飲み方もマナーも違う。

1999年のトルコ地震のとき、救済物資の要請の中に大量の砂糖があり関係者を不思議がらせたという。実はこれ、紅茶に入れる砂糖が必要というのが理由だった。トルコでは紅茶が生活に欠かさない存在であり、精神的な落ち着きを取り戻すことに一役買ったに違いない。



チャイハネと呼ばれるトルコの喫茶店

協力：世界緑茶協会、お茶の郷博物館、(株)エコライフラボ